

令和7年度 第61回新潟市主催春季市民総合体育祭

バレーボール大会開催要項

主 催 (公財)新潟市スポーツ協会・新潟市
主 管 新潟市バレーボール協会

1 趣旨

広く市民の参加を得て各種スポーツ大会を実施し、スポーツに積極的に参加することにより、生涯スポーツ社会の実現を目指すとともに、健康で明るい市民生活に寄与する。

2 開催日程

2025年6月22日(日)・7月6日(日)

開館 08:00 開会式 08:30 競技開始 08:45

3 カテゴリー

一般の部(男子・女子)・混合の部・9人制の部

(1) ネットの高さ

一般の部(男子): 243cm 一般の部(女子): 224cm

混合の部: 230cm 9人制の部: 235cm

(2) 混合男女割合

男子: 3人/女子: 3人とする。

※9人制の部についても混合チームでの出場可

4 会場

潟東地域コミュニティーセンター(混合)

西総合スポーツセンター(一般男子・一般女子)・西川体育センター(9人制)

※会場が変更となる可能性もございます。

5 大会運営について

市民体育祭の趣旨を基に、

学生、社会人を問わず参加者全員による大会運営にご協力をお願いいたします。

(1) 新潟市市民大会参加資格

①一般の部・混合の部

新潟市に在住、在勤、在学者及びクラブチームに所属する者が本大会に参加することができる。

②9人制の部

新潟市に在住、在勤、及びクラブチームに所属する、40歳以上の男子または男女混合のチームが本大会に参加することができる。

(2) 会場準備

各試合会場の第2試合チームは会場設営のご協力をお願いします。
当該会場に7：30までにご集合下さい。

(3) 開会式

参加チームは開会式前に大会本部で受付を完了して開会式に参加して下さい。
チーム・スタッフの変更などは受け付け時をお願いします。

(4) 審判員及び補助員

チームからお願いします。(審判・副審・記録・線審・点示)
人員が不足する場合などは、相手チームのご協力をお願いして下さい。
※審判員の担当チーム割りは別紙を参照して下さい。

(5) 会場後片付け

試合終了後、体育館の後片付け・清掃をお願いします。

(6) スポーツ傷害保険

選手は必ずスポーツ保険に加入して参加すること。
競技中にケガなどした場合は、当協会役員までご連絡下さい。

6 参加費 5,000円

下記の口座に申込締切り日までに振り込むこと。振込み手数料は本人負担です。

第四銀行 南新潟支店 口座番号 普通 1790375

口座名義 新潟市バレーボール協会

依頼人のお名前に続いて必ずチーム名をご記入して下さい。

7 申込み方法

大会要項：参加申込用紙に必要事項を記入し、eメールで申し込むこと。

「新潟市春季市民総合体育祭バレーボール競技」事務局 佐藤優弥

申込みeメール：entry@nvball.net

※代表者のメールアドレスを必ず記入してください。

※参加申込用紙はExcelファイルで提出をお願いします。

8 申込締切

2025年 6月 9日(月)

9 組合せ抽選

主催者側による責任抽選とする。

10 会場使用の注意事項

- (1) 貴重品の管理は各チームでお願いします。
- (2) 練習会場はありません。トレーニングルームなど他の施設は利用できません。
- (3) 空き缶、弁当空箱などのゴミは各チームで責任をもってお持ち帰り下さい。
- (4) フロアは飲食禁止です。
スポーツドリンクなどはキャップのあるものを使用して下さい。
- (5) 施設内は全面禁煙です。

競技上の確認

1. 競技規則について

- (1) 一般の部・混合の部

競技は2025年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制規則に準拠して行う。

- (2) 9人制の部

①新潟市社会人バレーボール連盟9人制競技規則を基本に開催する。

※2025年度公益財団法人日本バレーボール協会9人制規則に準拠して行う。

ネットの高さは235cm、コート広さ18×9m、サーブ1本とする。

デュースの場合2点差がつくまで行う。

②混合の場合の女子参加可能年齢及び男女割合
年齢は35歳以上、人数は特に規定なし、
ただし女子比率が高い場合1セット4点のハンデあり。

③男子40歳以上、女子35歳以上でチームが組めない場合、
アンダーエイジ3名（男子下限35歳、女子30歳）を
バックプレイヤーとして同時出場を認める。

2. 競技日程について

競技日程及び試合順は、プログラムに掲載のとおりとする。

3. 競技方法について

(1) 一般の部・9人制の部

予選リーグ戦を行い、後に決勝トーナメントを行う。

※チーム数により、変更の可能性あり。

(2) 混合の部

1セットマッチ総当たりで行う。

※チーム数により、変更の可能性あり。

4. 各試合のチーム構成員について

(1) 一般の部・混合の部

監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手14名以内の17名以内とする。

※リベロ・プレーヤーはチームの他の競技者と対照的なユニフォームを着用すること。

※ユニフォームがないチームに関しては、ビブスの着用可とする。

(2) 9人制の部

監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手15名以内の18名以内とする。

※ユニフォームがないチームに関しては、ビブスの着用可とする。

5. 試合の進行について

(1) 試合は追い込みで行う。

試合間は、15分とする。連続の場合は、20分の休息とする。

(2) 各試合とも5分合同の練習時間をとる。

この時、両チームの合意によってネットの使用は可能とする。

- (3) 試合間は、ほかのコートに支障がない限り、当該チームはネットを使用しない。
コートでの練習を認める。

6. キャプテン・トスについて

当該試合の5分合同練習終了後、記録席前で行う。

トスは両チームのキャプテン(ユニフォーム・ビブスの着用)で行い、代理は認めない。

7. エントリーについて

(1) 一般の部・混合の部

申込み時に登録された18名(以内)の中より、試合毎に選手14名(以内:但し13名以上エントリーする場合は、リベロは2名とする。)をエントリーする。

また、登録された選手18名(以内)の変更は競技者番号を含め認めない。

チーム・スタッフ変更届は、代表者会議終了時までに競技委員長に提出すること(監督のサインを忘れないこと)。なお、プログラムのミス・プリントは修正する。

※各競技会においては、以下の簡便法で代用してもよい。

試合毎のエントリーは、監督が公式記録用紙へのサイン時に選手欄において14名以内の選手を決定し、非エントリー選手の削除を行う。

(2) 9人制の部

申込み時に登録された18名(以内)の中より、試合毎に選手15名をエントリーする。

また、登録された選手18名(以内)の変更は競技者番号を含め認めない。

チーム・スタッフ変更届は、代表者会議終了時までに競技委員長に提出すること(監督のサインを忘れないこと)。なお、プログラムのミス・プリントは修正する。

※各競技会においては、以下の簡便法で代用してもよい。

試合毎のエントリーは、監督が公式記録用紙へのサイン時に選手欄において15名以内の選手を決定し、非エントリー選手の削除を行う。

8. 試合中について

- (1) 公式練習前に両チーム監督・キャプテンは、公式記録にサインすること。

- (2) アップゾーンでのボールを使用するウォームアップは認めない。

- (3) サブステチューションの場合、コート内の選手は分かった時点で手を挙げること。

9. 試合後について

レフリーの吹笛後、プレーヤーはエンドラインに整列し、アタックラインまで歩き、お互いに礼をする。

10. その他

- (1) 審判・補助役員はプログラムに記載のとおり、ご協力をお願いいたします。
- (2) 大会会場内で使用が許可された場所以外には立ち入らないようお願いいたします。

審判上の確認（一般の部・混合の部）

- 1 本大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則によって行う。
- 2 競技参加者は、公式競技規則を熟知し、これを守らなければならない。
また、監督及びチームキャプテンチーム関係者の言動について責任を持たなければならない。
- 3 タイムアウトの要求は、ハンドシグナルを用いること。
- 4 選手交代の要求とは、交代選手がコートに入る準備をして選手交代ゾーン入ることをいう。
同じ中断の間に2組以上の交代をするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンへ出向かなければならない。
- 5 コートワイピングについては、コート内の選手自身がタオルで速やかに行うこと。
但し、状況に応じて審判が許可した場合に限って、モップで拭くことができる。
- 6 タイムアウトの間、プレー中の選手は自チームのベンチ近くのフリーゾーンにでなければならない。
- 7 ボールをプレーする動作中の選手による両アンテナ間のネットへの接触は反則である。
- 8 試合中、監督は自コートベンチ前のフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる、着席する場合、その位置は記録席に最も近いベンチとする。
- 9 競技参加者は、スポーツマン的な態度で臨むこと。

判定に疑問がある場合は、ゲームキャプテンを通してのみ説明を求めることができる。

10 リベロのリブレイスメントは、必ず1ラリーを挟まなければならない。

審判上の確認（9人制の部）

- 1 本大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会9人制競技規則によって行う。
- 2 競技参加者は、公式競技規則に精通し、これを守らなければならない。
- 3 サービス順の確認時にサービス順に記載されていない選手がいた時は、チームは記載されている選手に戻さなければならない。その選手を出場させたい時は、サービス順の確認が終わり両チームの選手がコートに入った後、試合（セット）開始前に正規の選手交代を要求し、その選手をコートに入れることができる。
- 4 選手交代の要求とは、コートに入る準備のできた交代選手が選手交代ゾーンに入ることをいう。この場合、それぞれのセット開始前の選手交代およびコート内の選手の負傷等による選手交代を除いて、監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。同じ中段の間に2組以上の選手交代をする時は、同一の要求とみなせるようにすべての交代選手が同時に選手交代ゾーンへ出向かなければならない。
- 5 選手交代は1セットにつき6回まで要求することができる。ただし同じ中断中に連続して要求することはできない。先発選手は1セットにつき1回だけ交代してコートを離れることができる。また1セットにつき1回だけ自らの交代選手と交代してコートに戻ることができる。
- 6 ネットプレーを予測してネットに接近し、身体を前に出したり手および腕を前に出したりして、相手のネットプレーを妨害した場合は反則となる。
- 7 ボールの全体または一部が、許容空間外側のネット垂直面を超えて、相手側のフリーゾーンに行った場合、チームに許された接触回数のなかでボールを取り戻すことができる。
- 8 インプレー中、選手がネットおよびアンテナに触れたときはタッチネットの反則とする。
- 9 試合中、監督は自コートベンチ前のフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも

指示を出すことができる。着席する場合、その一は記録席に最も近いベンチとする。

10 特殊な事情による試合の中断によりノーカウントとなった場合、中断したときのサーバーの中断したときのサービス（第1または第2サービス）で再開する。

11 タイムアウトに入ったらコートから離れなくてはならない。ただし、その位置については制限されない。